

唐津城関連施設 事業提案概要書

1 施設の平等利用が確保されること。

地域に根付いた地元事業者と国内外へのネットワークを持つ大手旅行会社各々が持つノウハウを融合し業務を遂行します。近畿日本ツーリストグループでは他社に先駆け旅を通した共生社会の実現に向けてユニバーサルツーリズム推進を目的とした旅行商品を提供してきました。そのノウハウを活かしスタッフに対してのセミナーの開催やスタッフ研修を徹底します。スタッフの意識の向上を図る事で施設の公共性を皆が認識し全ての利用者に公平で平等なサービスを提供します。その唐津城を街のシンボルとし、唐津城を起点として唐津市全体の観光活性化へ繋げる取り組みを具現化し実行します。

2 施設の効用が最大限に発揮されること。

利用者の利便向上と利用拡大の為専用HPを開設、周辺施設やイベント等の情報を合わせて発信し唐津観光に関する情報発信の中心的な役割を担います。

集客に関してはテーマ型ツアーを武器に全国に390万世帯以上の会員をもつクラブツーリズムにて唐津城に特化したツアーを設定します。例えば名護屋城との連携によるストーリー性のある城ツアー、唐津くんちを絡めたツアー、夜間ライトアップイベント、唐津城貸切イベント、アニメ聖地巡礼ツアー等新しい目線での集客に努めます。また唐津市のシンボルである唐津城を地元の意欲ある若者達の活動拠点の場とし、地元イベントの年中行事化を目指します。

3 管理に係る経費の縮減が図られること。

基本的な考え方としては、入場者増を最優先で考え、尚且つ3施設の連携による経費削減に努めます。

例えば遠隔カメラ、Aiカメラ導入による巡回コストの削減、エレベーター付近の要員の見直し等を想定しております。削減費の一部をホスピタリティ強化の為に循環スタッフ（コンシェルジュ）の配置したり、唐津城をお散歩される近隣の市民に協力をいただきおそうじ散歩大会を実施する等、エコ活動を通しての経費削減と市民同士の交流の場を創出します。

4 管理を行う物的、人的能力を有していること。

近畿日本ツーリスト(株)は全国で城の運営管理実績があり、その経験とノウハウを活かした体制で臨みます。地元根差した事業者であり指定管理業務の実績を持つクリエイティブヤマトと連携を図り、地元事業者の皆様と共に地域の発展に貢献したいと考えております。スタッフに関しては旅のおもてなしのプロである株式会社ツーリストエキスパーツが地元雇用を推進し、スタッフのスキルアップの為にきめ細やかな研修を行いお客様満足度の向上に努めます。

また観光庁、環境省等の官公庁の助成金事業における採択実績を活かし唐津城の更なる利活用に向けた取り組みを積極的に行ってまいります。